

1. 背景・目的

・伊豆市では公共施設の管理・運営等への官民連携手法導入が進んでいないことが政策課題となっている。また、萬城の滝キャンプ場では以前指定管理者制度を導入したものの事業者が撤退した経緯があることから、案件形成にあたり民間事業者の視点が十分に取り入れられていないことも課題であるため、これらの課題解決に向けた庁内体制づくり及び、有効な案件形成の促進を図る。

2. 事業概要

- ・官民連携手法に関する職員や地元事業者の知識・ノウハウ不足や、庁内における官民連携のとりまとめ課(総合戦略課)と原課の情報共有・連携等の課題を解決する場を形成する。
- ・その中で抽出した具体的な案件について、官民での対話を通じて事業化に向けた検討を実施する。

3. 地域プラットフォームの取組概要

【図表 伊豆市地域プラットフォームでの検討経過】

【プラットフォームメンバー】

伊豆市総合戦略課、用地管理課、観光商工課、財務課

平成29年度

- ・PPP/PFIの庁内普及
原課を含めた庁内勉強会
官民連携セミナー開催(事例紹介等)

平成30年度

- ・伊豆市地域プラットフォームの形成
ロングリスト作成・案件抽出
市営住宅管理・運営事業者へのサウンディング

令和元年度

- ・具体的な案件の検討
市営住宅の管理・運営における民間活力導入
萬城の滝キャンプ場の次期指定管理者公募
・ロングリストの更新

(1)市営住宅の管理・運営に関する検討

- ・市が直営で行っている市営住宅の管理・運営について、各種事務の効率化等を図るため、先行事例のある自治体・民間事業者へのヒアリングを実施。
- ・また、中長期的な市営住宅の管理・運営を見据え、周辺市との広域的な連携を図るため、3市(伊豆の国市、伊東市、伊豆市)での合同勉強会を実施。

(2)萬城の滝キャンプ場の管理・運営に関する検討

- ・以前は指定管理者が管理・運営していたが、現在では市の直営となっている萬城の滝キャンプ場について、再度の指定管理者募集に向けて、民間事業者へのヒアリング、サウンディング、現地での意見交換会を実施。

(3)ロングリストの定期更新

- ・事業化が見込まれる案件情報を把握するため、ロングリストの更新を実施。

【写真 プラットフォーム会議】



【写真 3市勉強会】



4. 取組成果

(1)市営住宅への民間活力導入に向けた公募方針の策定

- ・民間事業者への委託によるメリット・デメリットを整理するとともに、委託可能な業務項目と委託額の関係を整理し、発注パターンを複数作成することで、事業化に向けた基礎条件の確認を完了した。

(2)萬城の滝キャンプ場への指定管理者制度導入に向けた公募方針の策定

- ・指定管理者の公募に向けて、サウンディング等を実施したことで、要項の作成に必要な情報や課題を明らかにした。
- ・現地での意見交換会において、民間事業者の参入意向や参入に向けて必要となる条件を把握した。

(3)ロングリストの定期更新

- ・ロングリストを年度更新するとともに、次年度以降に活用可能な案件聴取シートを作成し、今後の案件の聴取方法を定めた。

5. 今後の活動計画

- ・市営住宅の管理・運営については、令和3年の業務委託を目指し、予算化に向けた業務委託パターンの決定や、プラットフォームを活用した事業者との公募前対話等を行う。
- ・萬城の滝キャンプ場の管理・運営については、令和2年度の指定管理者の公募を目指し、公募要項を作成する。また、利用料金改定や設備補修、利用条件の明確化等の、指定管理者が運営を開始するまでに市で実施すべき項目について対応・予算化を行う。
- ・ロングリストについては、引き続き定期的に更新し、新たな案件候補の抽出を行う。